

入善町女性防火クラブ

富山県入善町女性防火クラブ
会長 車 美津子



入善町女性防火クラブは、家庭からの火災を未然に防ぎ、明るく安全な地域と家庭を築くことを目的に昭和55年5月に5支部122名で結成され、昭和57年に2支部、昭和58年に3支部が加わり、町内すべての地区に支部が結成されました。現在は10支部318名で活動しています。

ご近所付き合いが希薄になりつつある昨今、日々の火災予防活動の重要性を感じ、毎月19日は「女性防火の日」と定め、防火広報車で「火の用心」を呼びかけながら、町内全域を巡回パトロールしています。この活動のおかげで、令和4年中は7年ぶりに火災ゼロを達成することができました。

また、火災での死者をなくすため、住宅用火災警報器設置促進キャンペーンと銘打ち駅や町内のショッピングセンターで消防署員、女性消防団員と共に、街頭広報やポケットティッシュを配布し、住宅用火災警報器の大切さを呼びかけています。その成果もあり、近年の設置率は増加傾向となっており、住民の防火意識の高揚に貢献できて

いると感じています。

入善町消防出初式では消防団による伝統の裸放水が行われ、県内外からたくさんの方が見学に訪れています。裸放水の後には分列行進があり、私たち女性防火クラブもそこに参加し、拍子木を打ちながら無火災を呼びかけています。

今後も女性ならではのきめ細やかな活動を行い、安心安全な火災のないまちを目指して、創意工夫しながら活動を続けて行きたいと思います。



中土佐町上ノ加江地区 自主防災会

高知県中土佐町上ノ加江地区自主防災会

中土佐町上ノ加江地区自主防災会は、東日本大震災以前に地域の防災力向上を目指し、平成16年度に結成しました。

当地区は、南海トラフ地震が発生した場合に約3週間の孤立が想定されており、しかも、津波浸水を免れる想定避難所は上ノ加江小学校であり、小学校から離れた地区に住む住民の命を守り、つなぐため、津波避難場所への資機材の整備充実は、重要な課題となっています。

若年世代の多くが地区外に働きに出るに加え、保育所・中学校が久礼地区に統合、高校生は町外へ通学、また、役場支所の職員が2名体制であることを考えると、高齢化率55%を超える当地区においては、自主防災会を中心に事前の啓発、地域コミュニティの醸成、被災時の共助の推進が強く求められています。

課題解決に向け、小学校での防災教育への参画や防災教材等の寄贈、地区公民館への防災図書の寄贈、毎年開催される総会では防災をテーマに講

師を招くなど、地区の防災力向上に向けた啓発の取り組みを行ってきており、役員を中心とした地区内8ヶ所の備蓄倉庫の点検、補助事業を活用した資機材の充実に取り組んでいます。さらには、高知県立大学が実施した避難所での健康管理に関する研究協力、社会福祉協議会が開催する災害ボランティアセンター連絡会への参加など、「地区の問題を地区で解決する」体制の強化に努めています。

